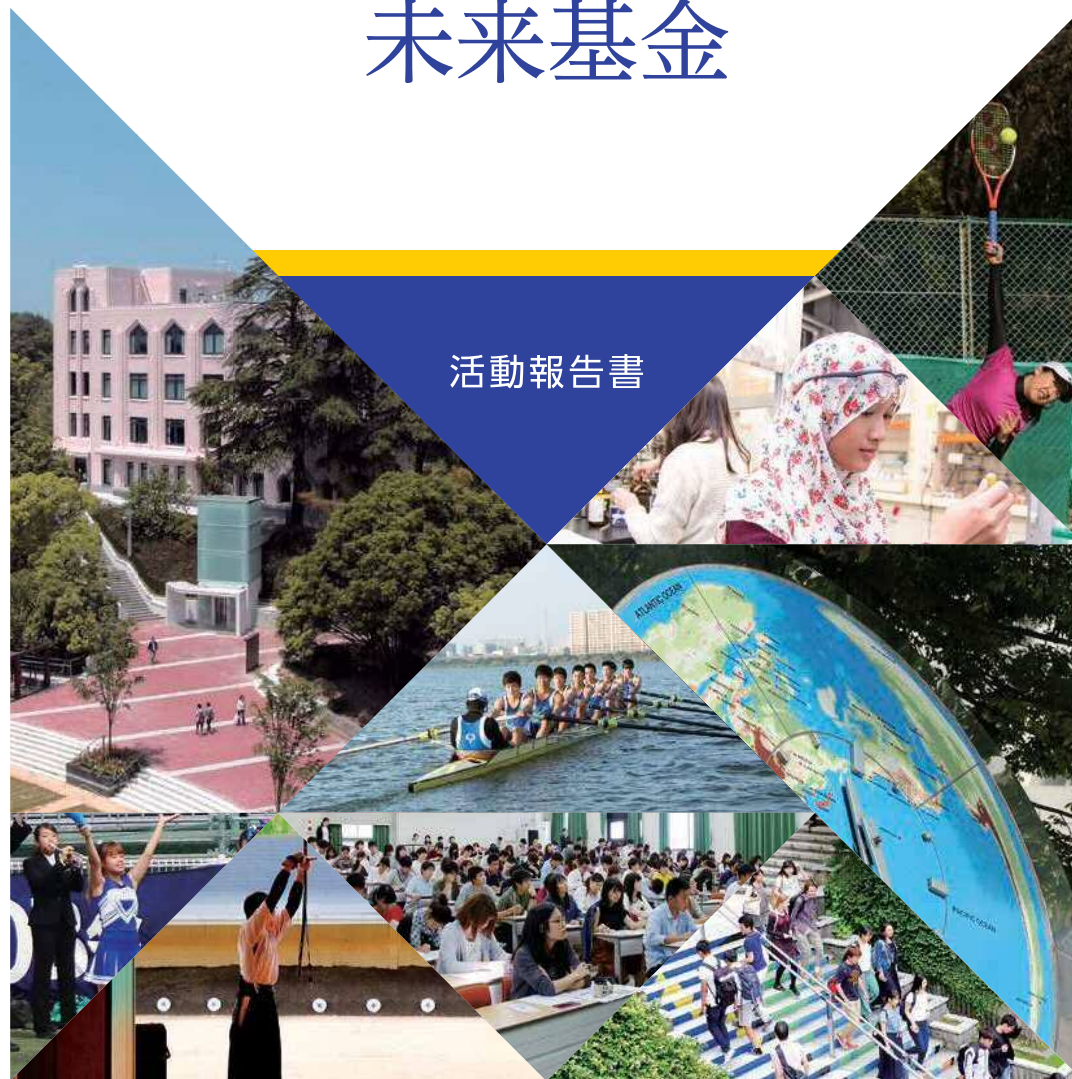




皆さまの温かいご支援、
心より感謝いたします。



総長ごあいさつ

未来基金を礎に大阪大学を 世界屈指の研究型総合大学へ

大阪大学は、地元の関西財界や大阪府市民の熱意ある活動の末、民間の意思と財源により1931年に帝国大学として創立されました。そして、その源流である懐徳堂と適塾の自由・進取の精神と、時代の要請に応えるという熱意を基軸として、次代の社会を支える有為な人材を社会に送り出し、世界最先端の学術研究の成果を世界に還元してきました。これこそが「地域に生き世界に伸びる」をモットーとする大阪大学の真価です。

大阪大学は、創立90周年、大阪外国語大学創立100周年の2021年を見据え、たゆまぬ自己変革の指針である「OUビジョン2021」の下、大阪大学運営の基軸に「Openness（開放性）」を置き、大学運営の基軸としています。社会の安寧と福祉、世界平和、人類と自然環境の調和に貢献する大学となることを志し、多様な知の協奏と共創によって、学問の真髄を極める高いレベルの教育研究を追求します。また、新たな学問領域の創成、専門分野を超えた知の統合学修を通じて地球規模の社会問題を解決し、人間性豊かな社会の創造に大きく貢献する人材を輩出します。それらを着実に遂行することによって「世界屈指の研究型総合大学」へ発展することを目指します。

大阪大学未来基金は、長期的に安定した財政基盤を確立するために2009年に設置以来、多くの皆さまからの温かいご支援により、順調に拡大してきました。この基金を貴重な財源として活用し、教育研究環境を一層充実できますことを心より感謝しております。

世界屈指の研究型総合大学へと発展していく上で、長期的に安定した財政基盤の強化、基金の充実が不可欠です。卒業生をはじめ、広く地域の方々や企業・団体等の皆さまには、引き続き大阪大学未来基金に温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

大阪大学総長 西尾 章治郎

A stylized signature of Shigeo Nishio in black ink, followed by a red square seal.



未来基金が大阪大学発展の礎となっています

大阪大学未来基金には、寄付金の使途を特定しない「目的指定なし」の基金と、寄付金の使途を特定した「目的指定あり」の基金があります。

大阪大学未来基金

目的指定なし

ゆめ募金

平成25年10月にスタートした基金です。目的を指定せず、基金として運用し大学全体のために活用されます。



学生支援

積極的な学生への顕彰・助成

研究者支援

学会への派遣など、若手研究者への支援

国際交流

海外留学費用の援助、外国人留学生への奨学金

社会貢献



学生朝食支援事業

目的指定あり

プロジェクト基金

プロジェクトごとに、あらかじめ寄付金の使途を特定して募集を行っている基金です。指定されたプロジェクトに活用されます。

大学のプロジェクト

大学全体で推進している事業

修学支援のプロジェクト

経済的に修学が困難な学生への支援

学部・研究科等のプロジェクト

特定の学部または研究科や団体を支援していく事業

課外活動等のプロジェクト

学生が運営する公認課外活動を支援していく事業

その他のプロジェクト

記念事業などその他特定活動の支援事業



大阪大学中之島センター

※詳しくは大阪大学未来基金のホームページをご覧ください

未来を担う学生や若手研究者を応援するため、研究・課外活動の支援、グローバル化推進の支援をおこなっています。

世界で活躍する人材育成を目指して



長期留学準備用イギリス短期集中英語研修 (エセックス大学)

グローバル化推進事業

海外留学プログラムに挑戦する学生の参加費用をサポートします。



無料朝食で阪大生の朝を支援します



学生朝食支援事業

産学連携で優れた栄養バランスの朝食を開発。学生へ無料提供しました。

知の探究者として、社会で輝くために



学部学生による自主研究奨励事業

学生が主体的に取り組む自主研究に対し、研究費を支援します。

総長が直接、学生を表彰する事が課外活動の励みに



課外活動総長賞

総長自ら学生・団体を表彰し、課外活動の活性化につなげます。

中之島キャンパス再開発事業など、大阪大学全体で進める事業です。

大阪大学発祥の地を「共創」の拠点へ



中之島センターがある中之島4丁目付近

中之島キャンパス再開発事業

大阪大学「創学の地」、中之島4丁目を本学のキャンパスとして再開発するプロジェクトです。「学術・文化・芸術・技術」を基軸とした多くの知が交差する情報発信拠点、産学共創・社会共創の一大拠点形成を構想しています。



1981年頃の中之島地区

施設の老朽化対策や高額品の購入など



プール(1978年設置)



ハンドボールグラウンド(1987年設置)

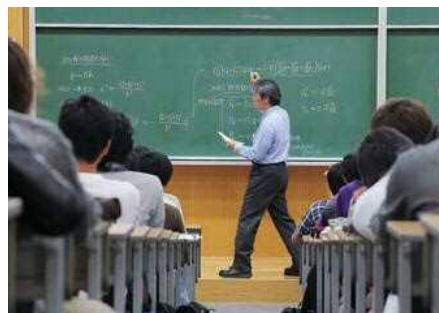
元運動用具庫を部室に(1977年設置)

改善が急がれる老朽化した施設・設備など

大学生活サポート事業

大阪大学の学生が各自の個性と能力を最大限に発揮することができるよう、205団体、約7,000人が所属する課外活動を支援しています。特に体育・文化施設の老朽化対策、物品の購入・貸与などへの支援が急がれます。

知の探究者として、社会で輝くために



大阪大学修学支援事業

経済的な理由により修学が困難な学生のために「大阪大学 修学支援事業基金」を設置しています。基金は「奨学金」「授業料減免」「留学支援」などに活用し、意欲あふれる学生をサポートしています。

■ 税制上の優遇措置

修学支援事業基金は、平成28年度税制改正で拡充された所得税の軽減措置に対応する事業として、未来基金の中に新たに設置した基金です。個人の皆さまからのご寄付については、確定申告の際、「所得控除」と「税額控除」のいずれかを選択することができます。

※詳しくは大阪大学未来基金のホームページをご覧ください

特定の学部・研究科をはじめ、具体的な教育研究を支援する事業です。



世界に誇る医学・医療のスペシャリストを育成



医学系研究科・医学部教育研究事業

世界最先端の医学研究を推進するとともに、医学、保健・看護科学、医療技術科学分野で知的リーダーシップを発揮できる人材を育てます。

不況や格差問題に新たな角度からアプローチ



行動経済学研究支援事業

心理学、社会学、脳科学など複数の学問を横断的に研究することで、伝統的な経済学では説明困難な社会的諸問題の解明に挑みます。

約50の国と地域から留学生を受け入れ

日本語日本文化教育センター教育促進事業

日本語・日本文化研修留学生教育を中心としたプログラムを提供するほか、海外日本研究拠点20機関と国際的な教育連携ネットワークを構築しています。



環境要因が人に及ぼす影響の解明を目指す



ツインリサーチセンター研究事業

ふたごの方を対象に研究を行うツインリサーチを通して、未来の医療や健康な社会の構築に貢献します。



我が国の科学技術発展に欠かせない研究事業に対し寄付金で建物を新設・改修



理学部・理学研究科教育研究事業

学際的研究の推進や教育システムの整備を通してさらなる活性化を目指します。



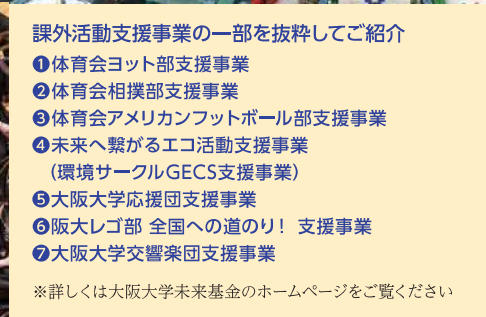
工学部・工学研究科教育研究事業

従来の取り組みを強化し産学連携並びに教育研究のグローバル化を推進します。

大阪大学の大学生らが運営する大学公認の課外活動に対し、物品の購入、大会遠征などの支援を行います。



1 吹田市環境表彰式典



大阪大学には、大学公認の課外活動が129個（体育活動59個、文化活動70個）あります（平成30年7月1日現在）。このうち 未来基金のプロジェクトは29個設置されており、多くのOB・OGや地域の皆さまからご支援をいただいております。各プロジェクトの情報は大阪大学未来基金のホームページをご覧ください。

ーご支援への感謝ー

全日本インカレ優勝を目指して活動



体育会ヨット部 第84代主将 吉田 圭佑
工学部応用理工学科 4年生

私たち体育会ヨット部では、人材育成・人間的成長を目的とし、目標に全日本インカレ優勝を掲げて練習、大会などの活動を行っております。体育会ヨット部支援事業に多くの方からご寄付賜り部員一同大変感謝しております。ご支援いただいた基金を元に本年、国際スナイプ級ヨットを購入し、新艇を使用した組が全日本個人戦に出場いたしました。

大学の集いでの演舞など活躍の場を拡大



大阪大学応援団 第57代団長 中島 千裕
外国語学部・外国語学科 3年生

大阪大学未来基金での大阪大学応援団支援事業に、過分なご寄付を頂き、誠に有難うございます。お蔭様でチャリリーダー部のコスチュームを新調し、経年変化による破損を憂慮せず、より安全に活動することが可能となりました。今後も益々精進して参りますので何卒宜しくお願い申し上げます。

大阪大学が推進する記念事業や社会貢献事業なども支援します。

学内保育園の整備など構成員の就業と家庭生活の両立支援



女性活躍支援事業

大阪大学が優秀な女性構成員の活躍できる場になるよう、女子学生・女子院生の修学支援、女性研究者の研究支援、女性教職員のキャリア支援などを行います。

支援体制の整備や進路相談の充実で学生のキャリア形成をサポート



キャリア支援事業

大阪大学ではこれまでも、学生のキャリア形成と就職活動の支援を行ってきました。この支援活動の質をさらに高めるよう、プログラム内容のブラッシュアップなどを行います。



大阪大学公式マスコットキャラクター「ワニ博士」

大阪の中心地「中之島4丁目」に阪大の拠点を



大阪大学の未来基金は、幅広く阪大の様々な活動を支える基金になっており、また様々なプロジェクトに柔軟に運用されています。私は大阪大学未来基金に対して、本年は、「大阪大学中之島キャンパス再開発事業」に拠出させていただこうと計画しています。中之島4丁目の大阪大学跡地は、国から大阪市に売却され、大阪市ではその土地を活用して、近代美術館建設を計画していましたが、これがいよいよ執行される段階です。更に大阪大学からは「中之島アゴラ構想」が提案されています。大阪大学未来基金を通じて、大阪市の中心地中之島4丁目に、大阪大学の拠点が早期に形成されますよう、皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

更家 悠介 (さらや ゆうすけ) 様
サラヤ株式会社 代表取締役社長

1974年 大阪大学工学部卒業
1975年 カリフォルニア大学バークレー校工学部
衛生工学科修士課程修了
1976年 サラヤ株式会社入社
1998年 同社 代表取締役社長に就任、現在に至る

基金を通じて、社会に貢献する現役生を応援



私は大阪大学交響楽団（阪大オケ）定期演奏会で未来基金を知り、頑張る後輩たちのためになればと、恥ずかしいくらいの少額ですが、寄付をさせていただきました。思えば私たちの時代には、阪大オケが定演以外で本番を持つことなど有り得ませんでした。しかし今では、実にさまざまな場所で演奏活動をする楽団になっています。自分たちが青春をささげた団体が今、趣味の世界を超えて社会的な団体になっていく姿を見て、とても嬉しく、誇らしく思います。先輩として、そして、それぞれの立場で社会に貢献する仲間として、私たちOB/OGはこれからも現役生の皆さまを応援し、支援していきたいと思っています。この手記をご覧の皆さまも、どうか大阪大学交響楽団への篤いご支援、よろしくお願い致します。

常盤 成紀 (ときわ まさのり) 様

一般社団法人 ロンチ・パートナーズ 代表理事
2012年 大阪大学法学部法学科 卒業
2017年 大阪大学大学院法学研究科博士後期課程在籍中

ご寄付者への顕彰

感謝状の贈呈

ご寄付をいただいた皆さまに、総長から感謝状を贈呈します。



ご芳名の掲載

未来基金ホームページ内の「WEB芳名帳」に掲載させていただきます。



「大阪大学感謝の集い」にご招待

一定額以上のご寄付をいただいた皆さまをご招待させていただきます。



組織

11学部16研究科からなる総合大学

■学部

文学部 — 文学研究科
人間科学部 — 人間科学研究科

外国語学部

法学部 — 法学研究科
経済学部 — 経済学研究科

理学部 — 理学研究科

医学部 — 医学系研究科

歯学部 — 歯学研究科

薬学部 — 薬学研究科

工学部 — 工学研究科

基礎工学部 — 基礎工学研究科

大学院 独立研究科

言語文化研究科
国際公共政策研究科
情報科学研究科
生命機能研究科
高等司法研究科
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・
千葉大学・福井大学連合小児発達学
研究科

■附属病院

・大阪大学医学部附属病院
・大阪大学歯学部附属病院

■附置研究所

・微生物病・産業科学・蛋白質
・社会経済・接合科学・レーザー科学

■全国共同利用施設

・核物理研究センター
・サイバーメディアセンター

■学内共同 教育研究施設

・国際教育交流センター

■附属図書館

・総合図書館 ・生命科学図書館
・理工学図書館 ・外国学図書館

■世界最先端 研究機構

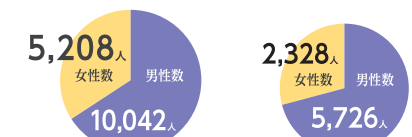
・免疫学フロンティア研究センター

■全学教育推進機構 等

数字で見る大阪大学

学部学生数国立大学トップ

平成30年度5月1日現在



学部学生数 **15,250人** 大学院生数 **8,054人**

独創的、先駆的な研究

平成29年度



国際的な賞の受賞



学生・研究者等の国際交流状況



学術交流協定状況

平成30年5月1日現在

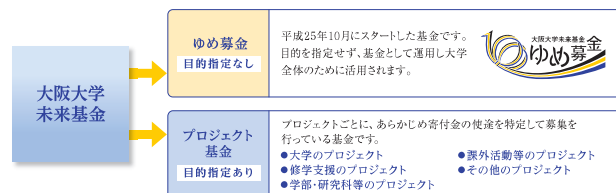


学部卒業生数・進路



未来基金の概要

大阪大学未来基金には、寄付金の使途を特定しない「目的指定なし」の基金と、寄付金の使途を特定した「目的指定あり」の基金があります。



ご寄付者への顕彰

●感謝状の贈呈

ご寄付をいただいた皆さまに感謝の心を込めて、
大阪大学総長から感謝状を贈呈します。

●「大阪大学感謝の集い」にご招待

一定額以上のご寄付をいただいた皆さまを、大阪大学
総長が主宰する「大阪大学感謝の集い」にご招待させ
ていただきます。



●顕彰プレート

累計50万円以上のご寄付をいただいた皆さまには、ご
芳名をプレートに記し、大阪大学中之島センターおよ
び大阪大学会館に掲示させていただきます。

プラチナプレート 5,000万円以上の寄付者
ゴールドプレート ★★★★★ 3,000万円以上の寄付者
★★★★ 1,000万円以上の寄付者
★ 500万円以上の寄付者
シルバープレート 100万円以上の寄付者
ブロンズプレート 50万円以上の寄付者

※上記金額は累計の寄付金額です



※ 感謝寄付者顕彰プレート(平成30年7月18日撮影)



2021年
大阪大学90周年
大阪外国語大学100周年



吹田キャンパス



豊中キャンパス



箕面キャンパス



お問い合わせ：大阪大学 共創機構渉外本部 未来基金事務局

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-8
TEL:06-6879-8327 FAX:06-6879-4337
e-mail: kikin@office.osaka-u.ac.jp

ホームページはこちら

大阪大学未来基金 検索

www.miraikikin.osaka-u.ac.jp



大阪大学 未来基金



ご寄付のお願い

総長ごあいさつ



大阪大学未来基金を通じて 皆さまのご支援を賜りますよう よろしくお願いします。

大阪大学未来基金は、長期的に安定した財政基盤を確立するために2009年に設置以来、多くの皆さまからの温かいご支援により、順調に拡大してきました。この基金を貴重な財源として活用し、教育研究環境を一層充実できますことを心から感謝しております。

1931年に創立された大阪帝国大学の成り立ちは、地元大阪の官界、政界、実業界のご支援と熱意、そして何より市民の協力と強い願望があって実現したという経緯があります。いわば“地域社会に支えられ、共に発展を遂げてきた大学”と言えます。

大阪大学のモットーである「地域に生き世界に伸びる」大学として、大阪大学創立90周年、大阪外国語大学創立100周年の2021年を見据え、世界屈指の研究型総合大学へとさらに発展していく上で、長期的に安定した財政基盤の強化、基金の充実が不可欠です。卒業生をはじめ、広く地域の方々や企業・団体等の皆さまには、引き続き大阪大学未来基金に温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

大阪大学総長 西尾 章治郎

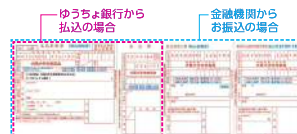


ご寄付の方法

個人の皆さま

●ゆうちょ銀行・金融機関の場合

所定の払込取扱票をご利用ください。通信欄に必要事項をご記入の上、ゆうちょ銀行、全国の金融機関でお手続きをお願いします。



●コンビニで払込の場合

大阪大学未来基金のホームページからお申し込みを受け付けています。お申し込みの数日後、払込川紙をお送りいたしますので、最寄りのコンビニにてお振込ください。

●大阪大学カード 詳しくは大阪大学カードのホームページをご覧ください

大阪大学カードは、大阪大学・大阪外国語大学の卒業生、現・元教職員を対象に発行しているクレジットカードです。大阪大学カードを利用してご寄付いただくと、その利用金額に応じた提携手数料が大阪大学に還元され、大阪大学の教育・研究・学生支援などに活用されます。

●クレジットカード・ATM・ネットバンキングの場合

大阪大学未来基金のホームページからお申し込みを受け付けています。ATM、ネットバンキングをご利用の場合は、ホームページからお申し込み手続き後、記載の銀行振込口座にお振込ください。また、クレジットカードによる定期的な寄付のお申し込みも受け付けています。詳しくは大阪大学未来基金のホームページをご覧ください。

ご利用いただけるクレジットカード



●口座振替による定期的なご寄付の場合

毎年1回定額のご寄付により大阪大学をご支援いただくものです。所定の「大阪大学未来基金 寄付申込書(口座振替用)」に必要事項をご記入の上、返信用封筒でご返送ください。



●古本募金「リボン」プロジェクト 詳しくは大阪大学未来基金のホームページをご覧ください

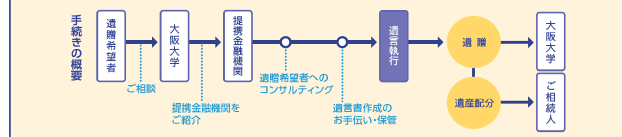
「Re:本(リボン)」プロジェクトは、大阪大学の在学生・卒業生・保護者の方・職員など当プロジェクトに賛同頂ける方々からの本の寄付によって、阪大生の「未来」を支援する取り組みです。



人生の集大成としての「遺贈」 ～皆さまの想いを未来に届けます～

遺贈とは、遺言を作成し、ご自身の財産の全部又は一部を特定の人や団体に無償で譲与することです。これまで築いてこられた財産や、先代から引き継ぎ大切に守ってこられた財産も、やがては相続という形で次世代へ承継されていくこととなります。「将来自分の財産は、母校の発展・前途有為な人材の育成等に役立てて欲しい」、こうしたご自身の想いを、遺言の執行を通じて確実に反映させることができます。

遺贈により社会に貢献したいとお考えの卒業生・在校生の保護者の方々・教職員・有志者の方々等へ、本学では「遺贈による寄付制度」を設けております。ご遺志に沿った遺贈がなされるよう、想いに寄り添いご相談を承ります。大阪大学未来基金事務局へお問い合わせください。



法人の皆さま

専用の申込書がございます。お手数ですが、大阪大学未来基金事務局までご連絡をお願いいたします。詳しい手続きをご案内させていただきます。

税制上の優遇措置

個人の皆さま

大阪大学へのご寄付につきましては、確定申告を行うことにより、税制上の優遇措置の適用を受けることができます。別途お送りする「寄付金領収証書」を添えて、所轄税務署に確定申告してください。

●所得税の軽減

所得税法第78条第2項第2号により、その年の寄付金の額(当該年分の総所得金額等の40%を上限とする)から2,000円を引いた額を所得税の課税所得から控除することができます。

●住民税の軽減

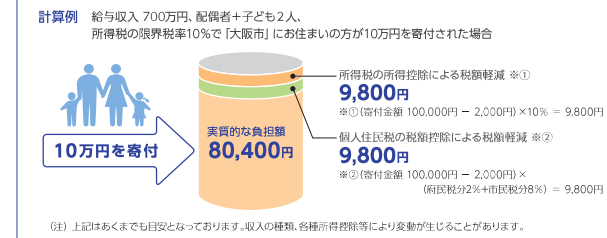
大阪大学への寄付金を個人住民税の控除対象としている都道府県・市区町村にお住まいの皆さまは、個人住民税が軽減されます。

個人住民税控除対象の都道府県及び市区町村

■都道府県：大阪府 ■市区町村：大阪市・吹田市・豊中市・茨木市・真面目市(平成30年7月現在)

その年の寄付金の額(当該年分の総所得金額等の30%を限度とする)から2,000円を引いた額に対し、以下の率を乗じた額が翌年の個人住民税額から控除されます。

- 大阪市：10%(府民税2%+市民税8%)
- 吹田市・豊中市・茨木市・真面目市：10%(府民税4%+市民税6%)
- 堺市：2%(府民税のみ)
- 上記以外の大阪府下の市町村：4%(府民税のみ)



●「大阪大学修学支援事業基金」へのご寄付について

「修学支援事業基金」へのご寄付については、平成28年度の税制改正により、「所得控除」に加え「税額控除」の適用対象となります。確定申告の際、「所得控除」と「税額控除」のどちらか有利な方をご選択いただけます。詳しくは、ホームページで「大阪大学未来基金修学支援事業基金」の内容をご確認ください。

●相続税について

大阪大学へご寄付いただいた財産について、相続税はかかりません。また、相続又は遺贈で取得された財産を、故人のご遺志やご遺族の意思に沿って本学にご寄付いただく場合にも、相続税申告期限内のご寄付であれば、本学発行の「寄付金領収証書」を税務署に提出されることで、相続税は免除されます。

法人の皆さま

法人税法第37条第3項第2号により、寄付金の全額を損金算入することができます。